

"BRING ME THE HEAD OF ALFREDO GARCIA"

百万ドルが
俺を動かしたのか!
その首が俺を走らせたのか!
25人の命を血に染めて
愛と暴力に散った
ベニーの生きざま――

「ゲッタウェイ」「わらの犬」の鬼才サム・ペキンパーが、灼熱のメキシコに愛と憎悪を叩きつけた衝撃作!



製作 ■ マーティン・バウム
音楽 ■ ジェリー・フィールドینگ
ウォーレン・オーツ
イセラ・ベガ
ギグ・ヤング
ロバート・ウェバー
クリス・クリストファーソン

ガルシアの首

サム・ペキンパー監督作品

〈カラー作品〉

ユナイテッド映画
United Artists

ガルスシアの首

ウォーレン・オーツ/イセラ・ベガ/ギグ・ヤング/ロバート・ウェバー

United Artists

脚本 ゴードン・ドーン/サム・ペキンパー/音楽 ジェリー・フィールドینگ

ユニタイト映画



ベスト・ワンを狙う鮮烈の問題作!

なぜ、その首が25人の命を奪い、百万ドルもの懸賞がつくほどの価値があるのか? アルフレッド・ガルスシアという平凡な一人の男の首。その首に百万ドルという巨額の金がかかったとき、巨大な組織が動きはじめた。そして、その組織に雇われた男ベニー。ガルスシアの首を得たとき、彼が失ったものは何だったのか?

巨大な権力機構と一人のちっぽけな男。大事なものを失ってしまった男が、己れの誇りと人間性を賭けて、その正体不明の権力機構に切り込んで行く……。「ワイルドの巨匠サム・ペキンパー監督が、灼熱のメキシコ原野を舞台に、愛とその裏側にある暴力と憎悪を鮮烈なタッチで描いた最新傑作。

凄絶なまでの愛と暴力。アクション映画の面白さを存分にお楽しみながら、しかも、一人の「人間」の生きざま、死にざまを鮮やかにとらえたこの作品は、すでに本年度ベストワンに推す人もいるほど話題をさらっている。

主演は「デリンジャー」でその強烈な個性をうたいあげたウォーレン・オーツ。ベテランのロバート・ウェバーとギグ・ヤング。メキシコで人気のあるイセラ・ベガ。彼女は、アメリカやヨーロッパの作品にこそ出ていないが、メキシコではすでに36本の主演作品を持つ演技派である。

その男の首に百万ドル!

メキシコの広大な牧場を支配し、この地方の絶大な権力者であるエル・イエフエは自分の愛娘テレサが妊娠していることを知り、烈火のごとく怒り、その男の首に百万ドルをかけた——男の名はアルフレッド・ガルスシア——

大きな組織がその百万ドル目指して動きはじめた。専門の殺し屋どもがガルスシアの首を求めてメキシコ中を駆けめぐった。片田舎のバーでしかないピアノ/弾きと

して生活しているアメリカ人のベニーも、その殺し屋どもに出会った。彼はガルスシアを知っていた。彼の情婦エリータの昔の恋人だったのだ。

ベニーは殺し屋の本拠に行つて、一万ドルで、ガルスシアの首を渡す契約をした。今迄見たこともない金だ。その金さえあればエリータと新しい生活を始めることができる。

いやがるエリータを口説いてガルスシアの実家に一緒に行くことを決めたベニーは、新婚旅行もどきの道中を始めた。こんなことをやっていいんだろうか? という疑問も、新しい生活を始めるという魅力の前には消しとんでしまった。

ガルスシアは既に死んでいた。ベニーはショックだったが、墓をあばいて首を持っていくことを決意した。しかし二人の後を同じ一万ドルで雇われた男たちがつけてきていることに彼は気づかなかった。

夜中、到着した二人は墓を掘つた。エリータはいやがしたが、ベニーはかまわず掘りつづけた。後から何者かが彼を殴つた。気づいたとき、ベニーの横にエリータとガルスシアの死体があつた。ガルスシアの死体には首がなかった。

こんな嫌な仕事を自分が引き受けたばかりにエリータを死なせてしまった、ベニーは、自責の念と何とも言いがたい憤怒にかられ、すぐ二人組の後を追つた。追いついたとき、ベニーの軍用コルトがつづけざまに鳴つた。倒れている二人にベニーはありつづけたの弾を射ち込んだ。

彼は首を殺し屋たちに届ける気はなくなつた。命令を出したのは誰だ? ベニーは無性に腹が立つていた。途中、ガルスシアの両親や親せきが首を取り戻しにやってきました。二人組の殺し屋が彼らを虐殺した。ベニーはその二人の殺し屋を殺し、命令を出したエル・イエフエの名を聞き出した。ベニーは、エル・イエフエの大邸宅に乗り込んだ……。

(二時間五四分)

